

令和4年度 第75回全国高等学校バスケットボール選手権大会 富山県予選 戦評

令和4年 11月6日(日)		会場：富山県西部体育センター					
男子 試合No. 4		決勝戦					
勝ちチーム <b>高岡工芸</b>	88	<table border="1"> <tr><td>23-12</td></tr> <tr><td>32-9</td></tr> <tr><td>15-22</td></tr> <tr><td>18-25</td></tr> </table>	23-12	32-9	15-22	18-25	68 負チーム <b>富山工業</b>
23-12							
32-9							
15-22							
18-25							
<b>戦 評</b>							
<p>1Qはお互いマンツーマンでスタート。最初の5分は高岡工芸#4・#5のドライブ・富山工業は#4のスリーポイント・#5のゴール下でスコアを重ねるが両チームとも堅いDFで点数が入らない。その後も膠着状態が続くが高岡工芸#4のアンドワンから流れが高岡工芸に傾き始める。高岡工芸#14の連続3ポイントや#5のレイアップなどで点差を広げ23-12で1Qを終えた。高岡工芸は2Qも攻撃の手を緩めることは無かった。#14のスリーポイント#4の力強いドライブなどで2Q開始3分で12-0のランで富山工業を突き放す。富山工業も#11・#4・#9のドライブで食らいつくが、高岡工芸の激しいDFからのファストブレイクや高確率のアウトサイドシュートが決まり2Q目は55-21と1Qからさらに点差を広げ高岡工芸リードで前半を終えた。</p> <p>3Q目も前半と同様にマンツーマンでスタート。#4の連続得点で富山工業に流れが傾き始める。しかし高岡工芸も簡単に反撃は許さない。#7のスリーポイントや#9のドライブからのレイアップで点差を詰めさせない。しかし富山工業#4のジャンプシュートや#6のドライブで対抗する。後半火が付いた富山工業が点差を縮め70-43で4Q目を迎える。4Q高岡工芸は嫌な雰囲気を出し、#14がこの日当たっているスリーポイントを沈める。このまま終わるかと思われたが、富山工業が意地を見せる。#5がゴール下で体を張り続け、高岡工芸のインサイド陣のファールを引き出し、フリースローやポストプレイで得点を稼いでいく。しかし反撃もここまですり、高岡工芸が88-68で勝利。13年ぶりのウインターカップ出場を決めた。</p>							
記録者：米田 樹生		所 属：富山県高体連専門部					
クルーチーフ：竹田 雄介		1st アンパイア：板井 巖					
2st アンパイア：一ノ谷 聡							